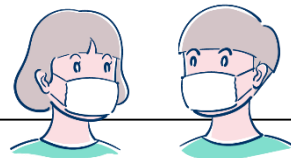


2020年度 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ・どろっぴサテライト 利用者アンケート結果

みんなで振り返る
コロナ禍での育児

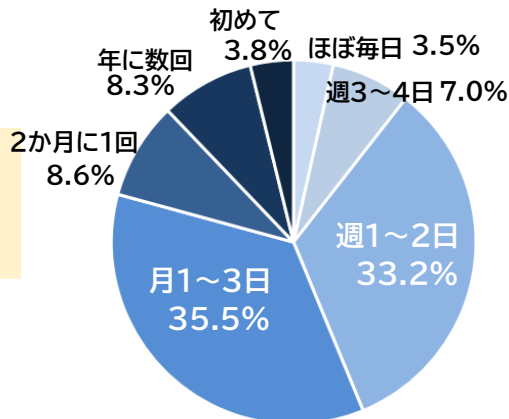
実施期間;2020年12月~2021年1月
回答数;313(大倉山;143/サテライト;170)



利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。みなさまからいただいた貴重なご意見は、今後の運営に活かしていけるよう、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用される皆さんと一緒に、検討する際の参考情報とさせていただきます。

Q;どろっぴ or どろっぴサテライトの利用頻度は どれくらいですか？

最も多かったのが月1~3日で35.5%、次に週1~2日が33.2%でした。
昨年と比較すると、**利用頻度の二極化**が見られ、ほぼ毎日(+1.8%)が増加し、
2か月に1回(+2.1%)年に数回(+1.4%)と利用頻度の少ない層も増加しました。



どのようなときに行きますか？(複数回答 昨年比±5%超項目を色づけ)

項目	割合	昨年比
子どもを遊ばせたいとき	65.6%	-10.6%
予定がないとき	56.6%	-6.6%
子どもの体調や機嫌を見て行けそうとき	33.1%	6.3%
天候が良いとき	20.2%	-4.0%
すいていそうとき	19.9%	8.2%
自分が誰かと話したいとき	17.2%	-11.4%
近くに用事があったときのついでに	12.3%	-1.2%
友達に会いたいとき	11.3%	-8.2%
どろっぴに用事があるとき	7.9%	-6.8%
行く曜日を決めている	5.6%	1.7%
知りたいことがあるとき	4.0%	-0.8%

どのようなときに行くか、については昨年と大きな差が見られました。

増加1位

減少1位

昨年に比べ増加したのが、すいていそうとき(+8.2%)、子どもの体調や機嫌を見て行けそうとき(6.3%)、逆に減少したのが、自分が誰かと話したいとき(-11.4%)、子どもを遊ばせたいとき(-10.6%)、友達に会いたいとき(-8.2%)となりました。

みんなで話したい!

コロナ禍で、利用頻度や利用目的に考え方の違いが出ているのかもしれませんが。

他の親子が、どれくらい外出しているのか、何をして過ごしているのかでさえ、分からないといった方もいるのではないのでしょうか。

自分が誰かと話したい、子どもを遊ばせたいと思ったら、すぐに利用できる場所であることは、本来、どろっぴが大事にしたいと思っていることです。

別の調査では、ひろばを週1回程度以上利用していると、ひろばから地域への繋がりがふえるという結果(※1)もあります。これからも、どろっぴは、親子が気軽に話したり遊べる場や機会を考えていきます。皆さんのアイデアがあれば、ぜひスタッフにお声がけください。

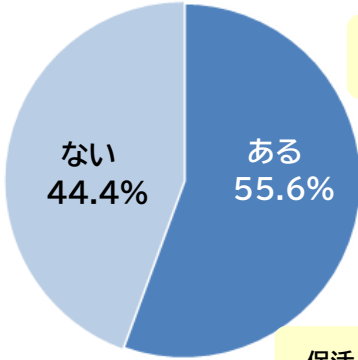


(※1:2018年に実施した横浜市3歳児健診調査によれば、地域子育て支援拠点・親子のつどいの広場の利用が週1回以上の人は、週1回未満の利用の人や利用がない人に比べ、地域社会性(地域の中で過ごし、地域の人たちとともに子どもを育てている感覚や行動)が高いという結果が得られています。ひろばをきっかけに、地域とのつながりが増えるといいなと思います。)

Q;新しい生活様式がはじまり、近隣との付き合いがあって良かったことはありますか？

困ったことはありますか？

良かったこと



旧知の友人や、親にすら会いづらい中で、気軽に会って育児相談ができたり雑談できるのがありがたい。

公園や散歩など密にならない場所で少しの時間だけ会って気分転換できた

お互いの家を行き来できること。主人の在宅勤務中によく遊びに行っていた。

保活・幼稚園情報は助かった

みんな同じようになやみながらも工夫してることがわかった

在宅ワークになった隣人から子供の泣き声についてのクレームがあった

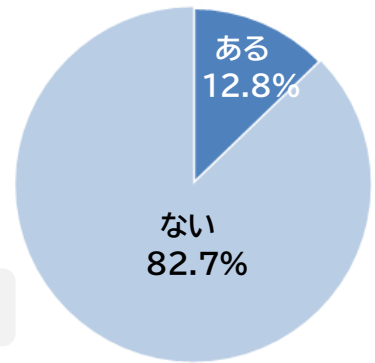
外出を自粛しなきゃと思うので新しいママ友が出来にくい。

旦那が家に居るのでお友達を呼べない

近隣との付き合いがない

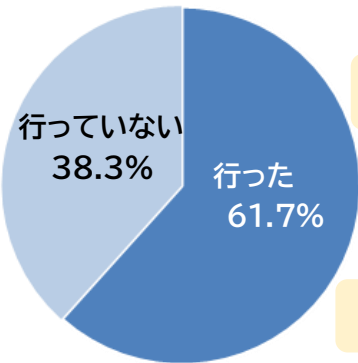
相手がどのくらいコロナを気にしているかわからない、どこまで接していいかわからない。

困ったこと



Q;新型コロナの影響かでも人とのつながりをもつために、遠隔(オンライン)での交流を

行いましたか？



両親や兄弟と近況や誕生日祝い、新年の挨拶

LINEで子育て中の友達と相談

Zoomで育児座談会に参加

スカイプで子供どうしあそんだ

今後のキャリアについて考えるイベントに参加した

習い事のオンラインレッスン

コロナ禍で、物理的な距離を感じる1年だったと思います。家が近いからこそその良さ、難しさ。それぞれ工夫しながら、試行錯誤していたようです。こんな迷いも、もっとみんなで話せるといいですね。一方で、家の中から外へ繋がるオンラインでの交流。実はどろっぶでは以前から、「産後間もないママパパにどうやってどろっぶを知ってもらうか」を考えていました。今や当たり前のようにZoomなどでの講座も行われるようになってきています。これを機に、産後間もなく家から出られなくても、地域と繋がれる機会(*2)を増やしていきたいと考えています。

みんなで話したい!

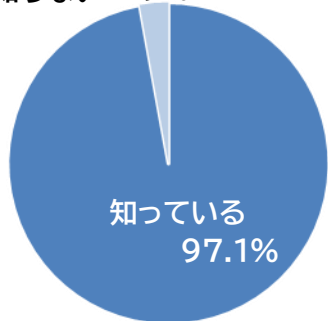
(*2)2020年度にどろっぶ・どろっぶサテライト、およびどろっぶを運営するびーのびーので実施したオンラインイベントは、約40回。

2021年度も継続して実施を検討しています、詳細はHPを確認、ないしはスタッフにお問い合わせください!



Q;どろっぷのひろばの中で子どもを預かるひととき預かりを知っていますか？

知らない 2.9%



利用したことがある:
22.7%(71名)

ひととき預かり事業も2年目になり、“知っている”人が97.1%になりました。皆さんもご存知ですね？ひととき預かりは、「数時間でも横になって休みたい」「一人の時間が欲しい」といったママ・パパの声にお応えする、理由を問わないどろっぷ(どろっぷサテライト)のひろばでの一時預かりです。

利用の決め手について、最も多かったのは、子どもが慣れている場所で預かってもらえる(49.2%)でした。コロナ禍で、預ける場所への慎重な判断もあったことと思われます。また、急な預かり(43.8%)、理由は問わず預かってもらえる(38.0%)も多くなりました。親の急な体調不良など、「今、この数時間だけ子どもを見てほしい」ということ、子育てをしている中でよくあることなのではないかと思います。予定のある預かりと異なって、急な一時預かりは、「自分が頑張れはなんとかやれるから」と後回しにしたり、配偶者に相談するのを躊躇される方もいると聞きます。1人で抱えないで、安心・信頼できる環境でお子さんを預けることを検討してみてくださいね。

< 利用した決め手は何ですか？ >

(利用するなら何が決め手になりそうですか;複数回答)

利用の決め手	人数	割合
子どもが慣れている場所	154	49.2%
急な預かり	137	43.8%
理由は問わず	119	38.0%
信頼できそうな人	109	34.8%
金額が適正	60	19.2%
何かあったときの保証	34	10.9%

ひととき預かり 受付;火曜~土曜(9:30~16:00)



横浜子育てサポートシステム港北支部事務局
TEL) 045-547-6422 (直通)

<自由記述から(一部抜粋)>

Q;ひろばの居心地はいかがですか？

サポーターさんが間に入って同じ月齢のママと話せるようにきっかけを作ってくれたのが助かりました！



衛生面、安全面に気をつけてくれているのがわかる。

コミュニティが出来すぎてないのが良い。

みんな子育て中だから、自分の子どもが思わぬ動きをしても許容してもらえる気がする。

Q;ひろばで困ったことはありますか？

大きい子にいじめられる

子供を見ていない親がおり、おもちゃを独り占めされて困った。

困ったときの対応方法について、「スタッフに伝えた」が昨年と比較し増加、「当事者同士で解決」が微増、「何もなかった」が減少しました。

当事者同士で解決できなければ、まずはスタッフに伝えてください。どうか、「困ったなあ」と思っても言えないままになったり、モヤモヤしながら帰らないでください。顔見知りができたら、まずは誰かに話せたり、一緒に解決できるといいですね。



Q:「手を貸してほしい」と周りにお願ひできますか？

トイレに行きたい時など、ほんの少しだけこどもを見てもらいたい時にまわりのママさんにお願ひする時があります。

忙しそうだったりすると声をかけにくい 1歳で動き回るので周りの保護者には声をかけにくい。

もう3歳なので親で解決すべきだと思う、どこまで頼ってよいかわからない。

Q:周りにいる人が困っていたら「手伝おうか」と声がかけられますか？

自分が何度も救われたので、同じように手を差し出せればと。子育ては助け合い！

抱っこ紐装着のときなど

低月齢のママを手助けしたい時がありますが、コロナのこともあるしあまり構われるのは嫌かなーと思い遠目に見守っています。何か出来ることがあるならしたいです。

自分のこどものことでいっぱいな事が多い為・・・。



どろっぴでは開所当初から、“子どもが真ん中、みんなで子育て”を大事にしています。同じように子育てをしている親子と声を掛け合い、手伝ったり手伝わってもらったりを繰り返す中で、みんなで子育てをすることで守られたり、安心することがあることを知ってもらいたいと思います。「もっと他の人の方が大変なんだから・・・」「みんなみたいに手伝えるほど自分は・・・」など、あまり考えすぎないようにしてください。できる人が、できるときに、できることを、と考えています。

Q:感想

3食きちんと食べることが出来てないので、おやつでも栄養をまかなっているのが、外でもいいので、おやつを食べるところがあると助かります。

幼稚園に入ると同年代の子供がほとんど来なくなるので、幼稚園児でも来館しやすい16時までの開館に戻ってくれたら、とよくママさんたちで話しています。

横浜市内の同じような施設がほとんど月曜休館なので、月曜も行ける場所があると良いなと思います。

私(保護者)が靴下で床が滑りやすくいつも気をつけてます。

寒くなってもいいのでもう少し換気をお願いします

いただいたご意見は今後のひろば運営に活かしていきます。ひろばの中で気づいたことは、些細なことだと思わず、スタッフに声をかけてください！



産後、どろっぴに来た事で育児生活がガラッと変わりました。大倉山に知り合いがいなかったところからスタートして、今は沢山お友達ができて親子共にいい刺激を受けています。これからはできることから恩返しができるくらいいいなと思っています。

コロナが流行してからは感染の心配からどろっぴに遊びに来る回数が減ってしまいました。それでもどろっぴも利用者も感染対策をできる限りして努力、協力して今があるのでできる限り存続して欲しいと思いますので、感染には気をつけつつも頑張ってください。コロナ禍だからこそ、子育て世代にはどろっぴは大事な場所だと思います。